

- ゴールデンウィークに県外などに出歩く人がいると思うのでそういう人に罰を。
- ゴルフ場を閉めてほしい。
- みんなが危機感を持つように、厳しい言い方ではっきりと、発信してほしい。
- 早く日常にみんなが戻れるよう、危機管理を先を見通して行ってほしい。また、医療現場が崩壊してしまわないように優先すべき。
- 保育園は休園なら休園と言ってくれた方が助かる。自粛と言う中途半端さが休めないし、それに伴って市や県が助成金等あれば。
- 登園自粛、登校自粛している家庭にお昼ご飯をどうにかするサービスがあったら嬉しいです。
- 国に1日も早く安全に暮らせるように、外に出れるようにして欲しい。それと関係ないけど安倍のマスク？ 人らの税金吸い上げてそんな金の使い方するなら他の使い方して適切に使うべき今こんな状況で税金の免除とか他にもっとしなくちゃいけないと思う。マスクとかふざけないでほしい
- 保育園や幼稚園が休みでも遊べるスペースや施設がほしい
- マイナンバーを活用するなどして、供給が安定するまではマスクや消毒液がみんな平等に購入できるようにする。医療現場、介護施設、保育園、スーパーやコンビニなどには、優先的に配布することマスクの在庫状況などをスマホアプリなどで把握できるようにする。(無駄に人が集まったり並んだりしないで済む)
- 感染者へのスムーズな検査、入院。発熱外来など他の病気への対応。タイミング悪くケガや病気になるのも治療して貰えなそうで怖い。
- いろいろ考えてくれていることに感謝。ただ、ビジョンが感じられないのが気になる。ロックダウンするべき
- 本気でやるなら、もっと範囲を明確に休業させてほしい。子どもがいても在宅勤務できるようなものではないこと理解してほしい。在宅勤務を推奨するより、通勤するなを推奨してほしい。
- 感染予防対策 長期化する中で教育に差ができないように DV 虐待子ども、高齢者 その他福祉サービスの提供をオンライン化できることはオンラインへ。
- 条件なしの一律給付、あとスピード感。慎重にって都合よく使うな。やりすぎるくらいでもちょうどいいからまず安心を。
- 特に無し。早く終息するよう願っています。
- 国で布マスクを2枚配布されても3人家族だと枚数が足りない。もっと大家族ならもっと足りない。
- 支援センターをやってほしい

- 仕事を無くしている人に早く支援を！
- マスクの配布、アルコールの配布
- 延期になっていた 1 歳半健診も中止になってしまい、適切な時期に見てもらえないのは不安。何か個別でフォロー等があればと思う。また、コロナ感染者の地域が具体的ではないため、どこに気をつければ良いか不透明なのが不安。市内でも大丈夫なエリアがあれば、その公園に連れて行けることが出来るので、感染者の地域情報の詳細を教えてください。
- 今は医療崩壊を防ぐこと、そして、緊急事態宣言したのであれば、もう少し行動制限できるような状況をつくるべき。宣言後もなお、都内はじめ首都圏ナンバーが多々観光に来ており、昼には店で外食している。感染拡大も増し、現在何のために子どもたちが我慢して生活しているのか分からなくなる。子ども達が遊ぶ場所の衛生管理（手洗い場の石鹸や消毒薬の設置）
- 国や県へ連絡した所、給付金の対象外と言われました…ひとり親の上に、稼がないと生きて行けないから、時間短縮でも休まず働いて、でもそれでも苦しくて、困ってるのに何にも支援はして貰えない事に不満です…
- 3密にならない対策 結局人が増えてしまう現状 子ども達の居場所
- 子供たちのストレス解消になる何かサービスがあれば嬉しい
- 子どもの予防接種など予定がつかまっているが、今病院へ行っていいのか？もし具合が悪くなった場合はどこへ行けばいいのか情報を発信してほしい。手作りマスクなど作っているお母さん達がいるので買い取って必要な人に配るなどしてほしい。
- マスクをお店ではなく、役場など全世帯に配れるようにしてほしい。ゴルフ場を閉めてほしい。
- 保育の維持
- 休業支援。子育て世帯への支援金など。保育園の自粛要請が出ているので慣らし保育もお休みしている現状。今のままでは職場復帰も難しく、可能になったとしても娘を保育園に預けるのが不安で仕方ない。
- 大至急現金給付
- 仕事を休みたくても休めない保護者は多いと思います。「自粛」や「お願い」といった強制力のない言葉では動かない企業は多いので、国や自治体から、妊婦や小さい子を持つ保護者が仕事を休むことができるようもっと強く求めて頂くようお願いしたいです。また、保育士や教員、子ども達の感染も増加しているので、学童や保育園等の利用者を（保護者の職業等で）制限して欲しいです。医療やライフラインを支えている方々のお子さんを少しでも安全に預かってあげて欲しいです。
- 保育園も休園にしてほしい。マスクより消毒液が欲しいです。

- おうち遊びにも限界があるので、安全な室内で、まだ目を離せない子供（0~2歳児等）が遊べるような場所が欲しい。
- 早く収束できるように専門家の意見を実行して欲しい。
- コロナが早く終息するように外出制限を自粛ではなくもっと徹底して行って欲しい。  
保育園は開けておいてほしい
- 持病がある人に優先的に使い捨てマスク、消毒が欲しい。妊婦さんへは支援があるのに。
- コロナの検査が迅速にできるようになればいいと思います。
- 安全な自粛生活
- 格安のランチ提供など。
- 相談できる施設の情報を知りたい。
- 特にないです。強いて言うなら感染をこれ以上拡大させないようにシテロほしい。
- 使い捨てマスクの増産。特定の人買い占められるような状況の改善。
- 一人当たり10万円の実現 コロナが一時的に落ち着いても夏休みなどの外国人の検疫、日本人の海外旅行の禁止などで完全に終わらせてほしい
- 企業が安心して休業できるように、支援してほしい。
- 検査を誰でもすぐ出来るように。医療従事者や介護士など守ってほしい。
- マスク、アルコール消毒が行き渡るようにしてほしい。
- 国民一人あたりに一律10万円現金給付
- 正確な情報の提供。長野市における新型コロナウイルス感染者情報は明らかに一部隠匿されています。隠匿することでさらに感染が拡大するおそれがあります。経済補償。いま、すべてのひとが安心して自宅に留まるためにも、全国民に向けての現金支給が必須であると考えます。現況における現金支給は、水や空気が誰にでも与えられるのと同じ意味があるとおもいます。
- できないこと、やらないほうがいいことを見極めた政策を打ち出してほしい。感染症が消息した後の暮らしが心配。
- 国の力でベーシックインカムのように一律現金給付がまず必要です。居場所として公が全部×だとしたら、それに代わる所（例えばホテルの個室）を使えるように現金を。それも一人一人に。また、使える場所、助けてもらえる所の情報をさらに広くしてほしい。

- 一人親なので、自分が感染したときのこと。親は年老いているため、預けられない。
- 自宅学習、マスクの購入についてみんなが困らないような方策を立てて欲しい
- 仕事が減ってしまった時の経済面の対策
- 私はコロナウイルスが悪いと思うので国に補償ばかり求めるのはおかしいと思っています。今までそれなりに貯金もしてきたらうし、それを使って乗り切る事も必要かと。逆に募金をしたいと思うところですが中々見つかりません。
- 無駄な支援をやめて、中小企業の経営支援を中期的にしてほしい。
- 働いている人が、給与を心配せずに休める制度
- 命に関わること、と思うと、生きていればそれでいい、と思っています。
- 休業補償 子供の保証
- マスク（特に子ども用）の供給
- テレワークができるような仕組みを
- コロナに対しての意識格差を感じています。蔓延防止には不要不急の外出をしないことが今、私達に出来る事だと思ってしまうが、まだまだ自分は大丈夫だの気持ちが強い人を見受けます。くだいくらいに、今やらなかったら日本がどうなってしまうかを正直に伝えてもらい、意識統一をはかってもらいたいです。
- 休園になった時や、自粛時の保育料免除を希望します。
- 早い決断力。
- 他国に比べて対策がぬるくて遅いと感じます。
- 1日でも早くコロナを終息させるために、国からしっかりと補償をした上でしっかりと自粛をするように促すべき。

●買い物に子供を連れていきたくないが、ばあばにコロナウィルスを移したくないのではあばにも預けられない。食事を作るのが大嫌いなので、毎日の献立に困る。食生活が片寄ってるのが、子供が便秘気味でも病院に行くのが怖い

●仕事が休めない日はどうしたら良いのか

●ゴルフ場があいてるし、外だから、大丈夫と言って、行ってしまう。子どもたちは我慢して自粛しているのだから、旦那も我慢してほしい。お店は危ないからって友人宅で集まっている。我慢してくれない。友人たちも同じで、やめてくれない。コロナになったら、一番に旦那を疑う。

●感染予防のため外出出来ないが家でやることに限りがあるので何をするか日々考える  
仕事がある為に仕方なく保育園に行かせてるが、感染リスクもあり怖い。本当は子供達と家に居たいが金銭的にも会社の地位的にも出来ない状況（派遣社員なので長期休暇で契約解除等の恐怖もある）

●買い物に出かけない人が多くなり、インターネットでの買い物が需要が増えてきた

●自分や家族が感染してしまうのではないかという不安感。買い物に行くのも恐怖。栄養バランス運動全部考えていかないとと言うストレス。

●疲れて

●いつもよく会う友達に遊びに誘われて、新型コロナが気になるから、と断りたかったけど、まだ県内での感染者は少ないしそんなに自粛ムードでもない時期だったから断りづらかった。  
感染リスクを知りながらも、通勤せねばならないこと、子どもを学童はやらねばならないこと

●フリーランス

●子どもの休校、経済的負担の増加、先行き不透明な状況、最悪な政治で、自分の心の余裕がなくなり軽い鬱状態な気がする。

●感染が怖く、外出できない。集合住宅なので騒音を出せず、家でもあまり体を動かさない。  
マスクが手に入らない